

視点

2040年に向けた 医療提供改革

団塊の世代が全員75歳以上の後期高齢者に到達する2025年を迎え、社会保障改革の次なるターゲットイヤーは高齢者数がピークになる2040年といわれている。こうしたなか、社会保障審議会医療部会は、「2040年頃に向けた医療提供体制の総合的な改革」の意見をまとめた。

一方、生産年齢人口の減少に伴

い、医療従事者の確保がさらに困難となることが予測される。医師については特に診療所の医師が高齢化し、診療所数は人口が少ない二次医療圏では減少傾向、人口の多い二次医療圏では増加傾向にあり、医師偏在が課題となっている。こうしたことを踏まえ、医療部会は、新たな地域医療構想や医師偏在対策、医療DXの推進などの改革を求めている。

新たな地域医療構想は入院だけでなく、外来医療や在宅医療、医療介護連携なども組み込んだ総合的な将来ビジョンとし、医療計画

の上位計画に位置付ける。医師偏在対策は「重点医師偏在対策支援区域」を設定、「医師偏在是正プラン」を新たに策定する。医療DXの推進では、電子カルテ情報共有サービスの構築・普及を図る。この他、美容医療の適切な実施やオンライン診療の推進なども盛り込んでおり、意見を踏まえて厚労省は医療法等改正法案として次期通常国会に提出する方針だ。

国民皆保険体制やフリーアクセスといった我が国の財産を次世代に引き継ぐためにも、必要な改革を進めてほしい。

社会保険旬報

目次

No.2950 2025年1月1日

視点

2040年に向けた医療提供改革 3

新春鼎談

審査支払機関の役割と未来

～医療DXの推進に向けて～

神田裕二 原勝則 榊原毅 4

論評

2025年を迎えた介護保険制度の

課題と展望

結城康博 22

霞が関と現場の間で⁵⁹

堀田力さんのこと

中村秀一 21

潮流

医療部会が医療提供体制改革で意見 28

医師の手当に保険者の拠出金を充当 30

後発医薬品23成分71品目を薬価収載 32

日本健康会議が宣言の達成状況を報告 ... 33

NEWS

全自病が経営状況の調査結果を発表

ほか 34

新春随想

松岡かおり 山本則子 美原盤

望月泉 矢野諭 天野純子

松田晋哉 37

年金の動き 45

編集室・ワードカプセル 46